

現場見学会 (DE工区 廃棄物掘削)

平成30年6月1日

平成30年度 工程表(案)

工区	工 種	単 位	年 数	月 量	4月 15 30	5月 15 31	6月 15 30	7月 15 31	8月 15 31	9月 15 30	10月 15 31	11月 15 30	12月 15 31	H31.1月 15 31	2月 15 28	3月 15 31
A工区	選別土盛土	式	1.0			実績←→計画										
B工区	鉛直遮水工	式	1.0							鉛直遮水工						
	洪水調整設備工	式	1.0				地盤改良			オフィスタワー・放流管						
	選別土盛土	式	1.0									選別土盛土				
C工区	底面・側面遮水工	式	1.0			地盤改良		底面・側面遮水工								
	鉛直遮水工	式	1.0							鉛直遮水工						
	選別土盛土	式	1.0		選別土盛土											
DE工区	廃棄物土掘削工	式	1.0	廃棄物土掘削(有害物掘削、K、L区画)												
	底面・側面遮水工	式	1.0			底面遮水工			地盤改良、底面・側面遮水工							
	選別土盛土	式	1.0				選別土盛土									
	工事用進入路	式	1.0			掘削	掘削	鋼矢板打設								
有害物掘削	CD区画	矢板打設工	式	1.0	矢板打設部置換工		矢板打設工									
		有害物掘削除去	式	1.0				D区画	C区画							
	FG区画	矢板打設工	式	1.0			矢板打設部置換工			矢板打設工						
		有害物掘削除去	式	1.0								FG区画				
	E区画	矢板打設工	式	1.0											矢板打設部置換工	
工事全体	選別処理施設	式	1.0	運転管理												

※現時点の工程であり、天候や作業状況等により変更が生ずる場合があります。

本日の見学箇所



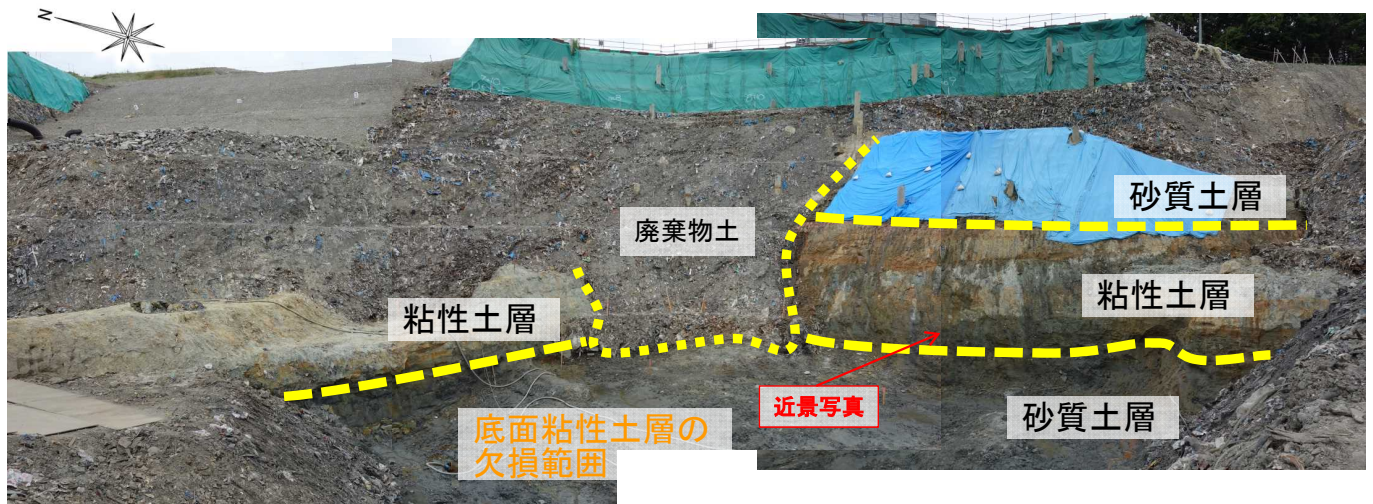
2

DE工区の状況



3

廃棄物土掘削(DE工区)の状況



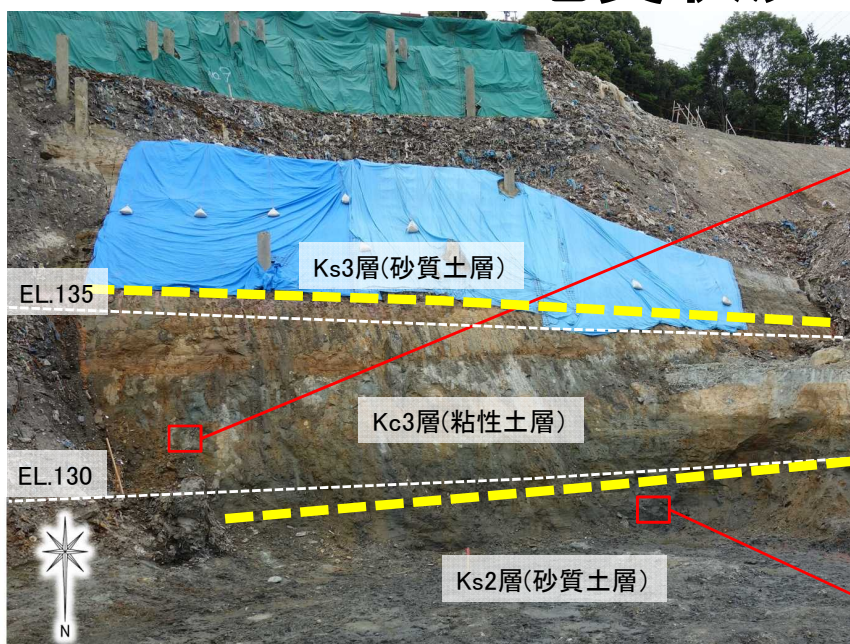
撮影日 平成30年5月29日

現在の状況

- ・ DE工区東側での計画掘削ラインでの廃棄物土掘削は完了しましたが、中央部の幅約10m範囲では、廃棄物土が一部残存しているため、追加調査を行い、掘削方法の検討を行います。
- ・ 上下流側では底面粘性土層が層厚約2～6m程度で厚く分布。
→掘削底面は掘り止め。基盤材の埋戻しを行う。

4

地質状況



細粒で固結度が高く
割れ目等は認められない



砂分を主体とし
Kc3層と比較して固結度は低い

撮影日 平成30年5月29日

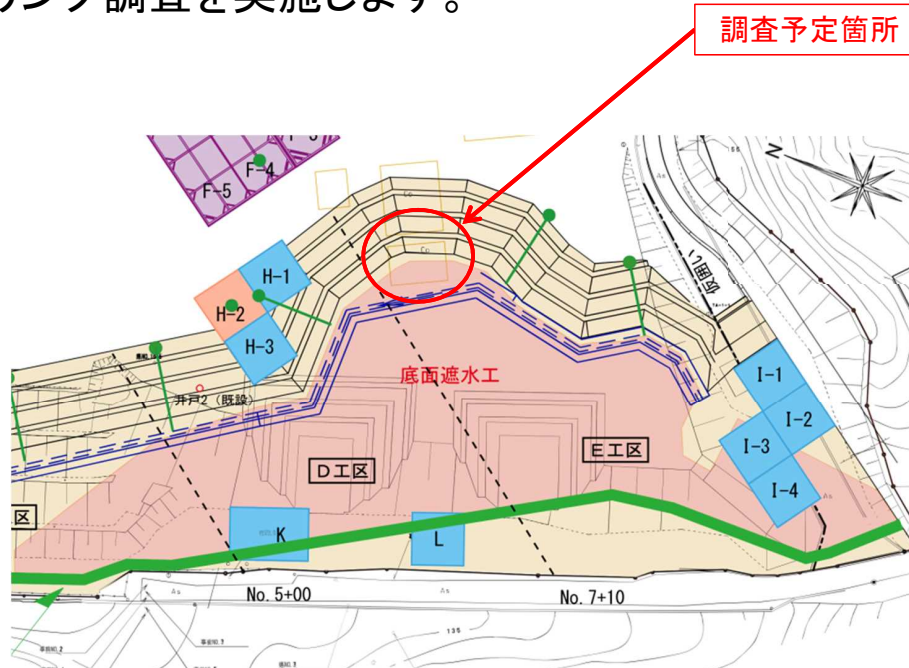
5

詳細調査ボーリング（お知らせ）

（DE工区）

概要

DE工区東側での、廃棄物土の一部残存範囲について、粘性土層までの残りの廃棄物土の深さ等を把握し、掘削方法を検討するため、追加ボーリング調査を実施します。



6

掘削した廃棄物

特異な廃棄物

・D工区（L区画：有害物土掘削，標高134.5～135.5m）で内容物有りの潰れたドラム缶50本と内容物が浸潤した土が出てきました

潰れたドラム缶と内容物（廃油）



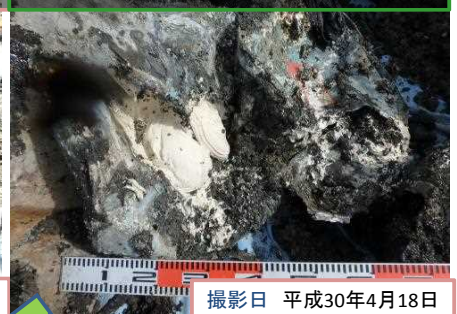
撮影日 平成30年4月18日

潰れたドラム缶と内容物（液体樹脂）



撮影日 平成30年4月18日

潰れたドラム缶と内容物（パテ）



撮影日 平成30年4月18日

潰れたドラム缶と内容物（タール様物）



撮影日 平成30年4月18日

・シリコンと鉱物油の混合物
（ドラム缶記載メーカーに確認済）

・一部のドラム缶には内容物が入ったままだったので、念のため油中のPCB含有量を分析
・浸潤土のPCB溶出量を分析

・潰れたドラム缶50本および内容物が浸潤した土を掘削
・遮水シートで養生して仮置き
・分析結果判明後、適正に処分予定

潰れたドラム缶と内容物（グリス様物）



撮影日 平成30年4月18日

7

ドラム缶および内容物浸潤土掘削場所

潰れたドラム缶と内容物（パテ・廃油・グリス・廃油浸潤土）



撮影日 平成30年5月29日

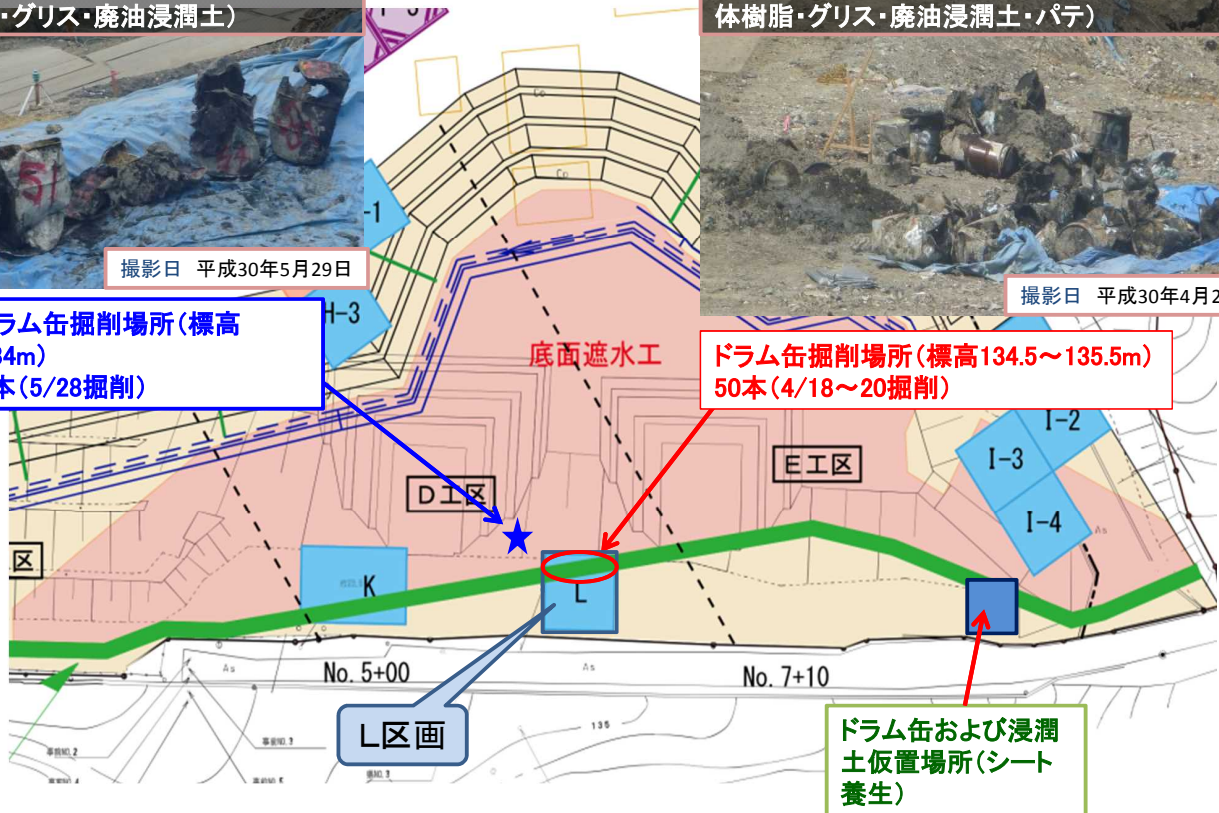
ドラム缶掘削場所（標高134m）
5本（5/28掘削）

潰れたドラム缶と内容物（廃油・タール様物・液体樹脂・グリス・廃油浸潤土・パテ）



撮影日 平成30年4月20日

ドラム缶掘削場所（標高134.5～135.5m）
50本（4/18～20掘削）



8

ドラム缶および内容物浸潤土掘削・仮置箇所

・潰れたドラム缶50本および内容物が浸潤した土を掘削



ドラム缶掘削箇所

・ドラム缶および浸潤土を仮置場所に移動



・油中のPCB含有量
・浸潤土のPCB溶出量を分析



・上面をブルーシートで覆って雨水の浸入・油等の拡散を防止

0.5mg/kg超：低濃度
5000mg/kg超：高濃度

分析結果
①低濃度PCB検出：4本(0.65～2.1mg/kg)
②残りのドラム缶は不検出
③浸潤土はすべて不検出



①低濃度PCB無害化処理認定施設で処分予定
②③焼却処分

ドラム缶および浸潤土仮置場所

・底面を遮水シートで養生して仮置場所を設営

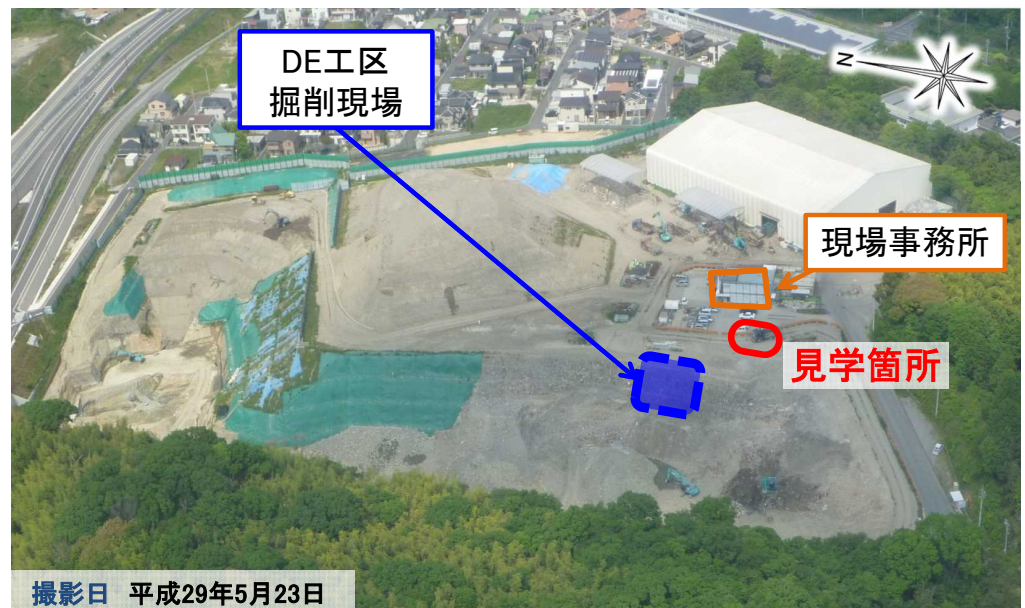


9

現場を見学されるにあたって

服装

- ①防塵マスク
- ②ヘルメット
- ③軍手
- ④長靴等



注意事項

見学箇所は掘削法面に隣接しており、足元も悪いため**危険**です。
指示に従い安全に行動していただきますようご協力お願いします。